年間授業計画　新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用） 教科　　科目

教　科：０　　科　目：０　　単位数：　　単位

対象学年組：第　１学年　　組～　　組

教科担当者：（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（　　）

教科　０　　の目標：

【知　識　及　び　技　能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目　０　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
２学期							
３学期							
							合計
							30

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用） 教科　国語　　科目 現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　H　組

教科担当者：（A組：古宮里枝）　（B組：石川浩子）　（C組：古宮里枝）　（D組：金子愛弓）
（E組：菊地裕介）　（F組：金子愛弓）　（G組：石川浩子）　（H組：菊地裕介）

使用教科書：（ 現代の国語 （東京書籍）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　これまでで身に着けた言語能力の基礎の定着と、応用を身に着け、使いこなすこと。

【思考力、判断力、表現力等】　言語によって自身の考えを発信し、相手の考えを聞く力の育成。

【学びに向かう力、人間性等】　言語によるコミュニケーションを図り、他の人との関係を構築すること。

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
漢字、豊富な語彙、語の使い方などの基礎的な国語の知識や技能を持ち、実社会で生かすことができる応用力を身に着け、使いこなすことができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元『水の東西』 【知識及び技能】 本文が二項対立の形で書かれていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「水」を基に、東西の文化の違いを比較し、本文から読み取れる日本文化の特質について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 東西の文化の違いについて興味・関心をもち、身の回りから探そうとしている。	・指導事項　学習方法の理解、確立 ・教材　「現代の国語」教科書、辞書 ・端末で「鹿おどし」についてインターネットで調べ、動きや音を確認する。	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	単元『言葉は世界を切り分ける』 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 言語の違いが世界の認識にどのような影響を与えるかを理解し、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしている。	・指導事項　学習方法の理解、確立 ・教材　「現代の国語」教科書、辞書 ・端末で色の切り分け方を他者と共有し、本文の深い理解に繋げる。	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1
	単元『広告の形而上学』 【知識及び技能】 「形而」の意味を理解し、本文の内容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 商品と広告の関係について、身近な例を用いて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 資本主義における広告のあり方について関心を持つことができる。	・指導事項　評論文を読むために着目する点を学ぶ ・教材　「現代の国語」教科書、辞書 ・端末を使用し、同業種の広告を見比べてみるなどして、理解を深める。	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	9
	単元『真の自立とは』 【知識及び技能】 本文の構造を的確に理解し、内容整理に繋げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて、本文以外の情報から書き手の意図を解釈したり、自身の考えと比較できる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を受け、「自立」について積極的に他者と意見交換ができる。	・指導事項　評論文を読むために着目する点を学ぶ ・教材　「現代の国語」教科書、辞書 ・端末を使用し、関連資料を探してみる	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1
2学期	単元『生物の多様性とは何か』 【知識及び技能】 専門用語に着目し、どのように使われているか理解して読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会において作者が何を問題視しているか読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 難解な文章に粘り強く取り組み、「生物多様性」について自身の意見を述べることができる。	・指導事項　評論文を読解するために着目する点を学ぶ ・教材　「現代の国語」教科書、辞書 ・端末を使用し、関連資料を探してみる	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	9
	単元『〈私〉時代のデモクラシー』 【知識及び技能】 内容理解のために、キーワードについて辞書的な意味のみならず、本文中での役割や性質を理解して読解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 〈私〉〈私たち〉という強調された言葉の違いについて、その意味を考え説明できる。 【学びに向かう力、人間性】 本文中のキーワードを現代社会において考えたとき、その難しさを感じ、身近に[illegible]	・指導事項　評論文を読解するために着目する点を学ぶ ・教材　「現代の国語」教科書、辞書 ・端末を使用し、関連資料を探してみる	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1
	単元『暇と退屈の倫理学』 【知識及び技能】 文の種類を意識して読み、筆者自身の主張なのか、そうでないのか読み分けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文と図や写真を関連付け、筆者の主張を理解し、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近に考えやすいテーマであることから、筆者の考えを踏まえ自身の考えを持ち、他人と共有することができる。	・指導事項　評論文を読解するために着目する点を学ぶ ・教材　「現代の国語」教科書、辞書 ・端末を使用し、他者と情報共有をする	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	単元『鳥の眼と虫の眼』 【知識及び技能】 テーマとなる語について、辞書的な意味だけでなく、本文中での役割等を理解し読解ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 引用文を適切に理解し、それが筆者の主張にどのように役立つものかを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物事を見る視点の重要さについて自身の考えを深め、説明することができる。	・指導事項　評論文を読解するために着目する点を学ぶ ・教材　「現代の国語」教科書、辞書 ・端末を使用し、他者と情報を共有する	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1
	単元『少女たちの「ひろしま」』 【知識及び技能】 普段耳にする言葉が本文中ではどのような役割を担っているのか、その差異は何なのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「ひろしま」という言葉の表記や、そこに込められた筆者の意図を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 被爆地である「広島」について、筆者の考えを読み、興味・関心をもって自分なりに調べることができる。	・指導事項　他教科との繋がりについて学ぶ ・教材　「現代の国語」教科書、辞書 ・端末を使用し、調べた情報を基に、自身の考えをまとめ発表する	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○		1 合計 78

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：

使用教科書：（ 言語文化（東京書籍） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 これまでで身に着けた言語能力の基礎の定着と、応用を身に着け、使いこなすこと。

【思考力、判断力、表現力等】 言語によって自身の考えを発信し、相手の考えを聞く力の育成。

【学びに向かう力、人間性等】 言語によるコミュニケーションを図り、他の人との関係を構築すること。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			与・聞	書	読					
1学期	古『兄のそら寝』『餓鬼阿師食秀』古典文法 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いのきまりを理解し、本文外で使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 古文を読むことに積極的に取り組み、説話の面白さを説明できる。	・指導事項 古文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、古文の世界について調べてみる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	13
	漢『訓読の基本』 【知識及び技能】 漢文の基本的な構造について理解し、日本語の熟語に着目し、それを活かして説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 熟語や格言の意味を理解するとともに、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文の特色や訓読の決まりを理解し、日本語にどのように影響しているかを積極的に考えることができる。	・指導事項 漢文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、漢文の世界について調べてみる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1
	古『丹波に出雲といふ所あり』古典文法 『九月二十日のころ』 『五月ばかりなどに山里歩く』 【知識及び技能】 用言の活用について理解し、本文の用言について適切に説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情を本文から読み取り、話の流れに合わせて現代語訳をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作者の考えを読み取り、現代人との考えの違いについて比較、検討することができる。	・指導事項 古文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、古文の世界について調べてみる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	13
	漢『寓話』 【知識及び技能】 訓読の基本を意識して文章を読むことができ、故事成語の成り立ちや意味について本文から読み取り説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 故事成語の元となる話の内容と、故事成語の意味がどのように繋がっているのかを理解し、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 聞いたことのある故事成語について興味・関心をもち、調べることができる。	・指導事項 漢文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、漢文の世界について調べてみる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1
2学期	古『茶川』『東下り』古典文法 【知識及び技能】 学習した用言・助動詞を用いて本文の内容を適切に読み取り、説明することができる。 【思考力・判断力・表現力】 登場人物の心情を本文から読み取り、話の流れに合わせて現代語訳をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代との文化や感性の違いを理解し、他作品ではどのように書かれているのか、積極的に学ぼうとしている。	・指導事項 古文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、古文の世界について調べてみる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	15
	漢『春曉』『元二安西使之』『春望』『香炉峰下、新山居卜』『雑説』 【知識及び技能】 漢詩のきまりを理解し、日本の様々な作品への影響と共に読むことができる。 【思考力・判断力・表現力】 漢詩の内容から状況や心情を適切に読み取り、ものの見方や考え方を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 訓読のきまりにもとづいて漢詩を読み取り、その内容、状況や心情について討論をすることができる。	・指導事項 漢文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、漢文の世界について調べてみる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1
	古『筒井筒』『傾京』古典文法 【知識及び技能】 学習した助動詞をはじめ、文法事項を基に文章を読解できる。 【思考力・判断力・表現力】 作品における和歌の位置づけを理解し、文脈をくんで現代語訳ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知っている和歌の背景等を積極的に調べ、本文における和歌の役割を理解する。	・指導事項 古文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、古文の世界について調べてみる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	15
	漢『史話』 【知識及び技能】 舞台となった時代背景や地域についての知識を基に、その内容を説明している。 【思考力・判断力・表現力】 人物関係を把握し、内容理解や現代語訳に適切に活かすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語が現代日本でどのように使われているのかを学び、例文を作るなど自身に引き付けて考えることができる。	・指導事項 漢文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、漢文の世界について調べてみる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	小説『羅生門』 【知識及び技能】 登場人物の心情表現や、場面の把握といった小説の読み方の基本を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 複数の登場人物の目線から物語を考え、それぞれのものの見方、感じ方や考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 下人の行方や老婆の発言等、本文には書かれていない箇所について考え、他者と意見を共有することができる。	・指導事項 古語ではないが、理解しにくい世界観であることに留意し、作品の時代設定についてしっかり指導する ・教材 「言語文化」教科書、辞書 ・教科書掲載外の『羅生門』について端末で調べ、違い等についてまとめる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	10
	定期考査		○	○	○		○	○		1
	古『木曾の最期』『天の羽衣』『恋の歌』を読み比べる』古典文法 【知識及び技能】 古文の「敬語」を理解し、文法事項から人物の身分関係を読み取ることができる。 【思考力・判断力・表現力】 本文の背景を理解し、本文の内容とリンクさせて現代語訳をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 特徴的な時代背景について興味・関心をもち、他教科や自身の既知の事項と照合しながら本文を読むことができる。	・指導事項 古文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、古文の世界について調べてみる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	15
	漢『論語』『性善説』 【知識及び技能】 『論語』を出典とする言葉を学び、その後を使用することができる。 【思考力・判断力・表現力】 孔子の政治について読み取り、内容を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 孔子の政治観について読み取り、自身の考えと比較、他者と意見の共有ができる。	・指導事項 漢文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、漢文の世界について調べてみる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	物語『富岳百景』 【知識及び技能】 登場人物の心情表現や、場面の把握といった小説の読み方の基本を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 本文において「富士」という語がどのような働きをしているかを理解し、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 「私」の心情の変化と「富士」や人々の描写に着目し、自身の考えを深め他者と共有することができる。	・指導事項 古語ではないが理解しにくい世界観であることに留意し、読解する際の注意点であることを伝える ・教材 「言語文化」教科書、辞書 ・教科書掲載外の『羅生門』について端末で調べ、違い等についてまとめる		○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	10
	定期考査		○	○	○		○	○		1 合計 117